

## 職業講話で自衛隊を身近に



自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明 1等陸尉）は、11月6日（水）、13日（水）の2回、川崎市立川崎高校（定時制）において職業講話を行った。職業講話には両日合わせて61名の参加があり、川崎出張所長から「働くということ」や「自衛官の仕事」などについて説明を行うと、参加者たちは自衛隊のパンフレットを開き、読みながら聞き入っていた。特に福利厚生や給与関係が充実している事や、ワークライフバランスに力を入れている事などの説明には、真剣なまなざしでメモを取る姿が見られた。

また、自衛隊には100種類以上の業種（職種）があることの説明に驚いた様子を示し、実際には厳しい訓練ばかりではないことや、事務系の職種があることなど、具体的な説明を行うと「実際の自衛隊を知るとも面白い機会となった」との声が聞かれた。担当の先生からも、「しっかりと説明をしていただいて、細かいことも理解できた」とお礼の言葉をいただいた。

川崎出張所は、「生徒さんの進路の選択肢に自衛隊が入るように、今後も寄り添ってフォローしていきたい」としている。

## 中学生職場体験を支援



6人用天幕の設営体験（13日、座間駐屯地）



航空機「LC-90」の誘導體験  
（14日、厚木基地）



体験喫食（14日、厚木基地）

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 栗野晃光3等陸佐）は、11月13日（水）及び14日（木）、相模原市立田名中学校の2年生10名及び相武台中学校の2年生5名に対する職場体験を支援した。これは「令和6年度さがみはら中学生職場体験」の一環として相模原市が実施しているもので、生徒が働くことの喜びと大変さを実感し、自らの働き方や生き方について考えることを学ぶ取り組みとなっている。

13日は陸上自衛隊座間駐屯地において、基地内に残る旧海軍時代の建物や地下壕などの見学を通じ駐屯地の歴史を学ぶとともに、天幕設営、救急法、個人装備の装着、車両見学など野外で活動する陸上自衛官の勤務を体験した。14日は海上自衛隊厚木基地において、シミュレーターによる航空機の進入許可の訓練、実際の任務で滑走路から離陸する輸送機「C-130」の見学、手信号を用いた連絡機「LC-90」の始動・誘導など、航空機を運用する基地の業務を体験した。また、両日とも駐屯地・基地の食事（昼食）を喫食し「とても美味しかった」と好評だった。

参加した生徒からは「駐屯地・基地の概要や自衛隊の日々の訓練内容が知れて、とても面白かった」「普段できない特別な経験ができて本当にうれしい」「自衛隊が日本を守るために働いてくれていることが理解できた」との声が聞かれ、自衛隊に対する関心及び理解を深める有意義な体験になった。

相模原地域事務所は「今後も地域の中学校との連携を密にしながら積極的に職場体験を支援し、ひとりでも多くの生徒に自衛隊という職業への理解を深めていただけるような機会を提供していきたい」としている。